

NPO法人 外国から来た子ども支援ネットくまもと 2020年度 活動報告

3) 「ひだまり学習会」

毎週水曜日の19時～21時に、鹿本市民センターひだまりで行っています。山鹿市に在住、または勤務するサポーター約5名が中心となり、小学生から大人まで約10名の学習者に日本語指導や教科学習のサポートなどを行っています。

コロナウイルス感染症の広がりや大きなイベントは開催できませんでしたが、季節の遊びや日常に必要なスキルの習得などに力を入れて過ごしました。



4) イベント開催

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、イベントの開催がほとんどできませんでしたが、8月29日に感染症対策を行いながら江津湖でカヌー体験会を行い、屋外の活動を楽しみました。



5) 地域での研修会・講演活動

(一部を抜粋して掲載)

- 7/29 合志市立南ヶ丘小学校 校内研修会 講演
- 9/16 熊本県人権同和政策課 人権啓発web講座 講演
- 10/14 熊本東南ロータリークラブ 定期講和 講演
- 11/5 菊池市人権研修会 講演
- 11/17 宮崎県人権同和教育協議会 定期大会 講演
- 12/20 佐賀市日本語ボランティア講座 講演
- 1/24 熊本市人権教育研修会 講演
- 3/10 菊池女子高校多文化共生と日本語教育 講演

2021年度活動予定

- 1) 「第16回外国ルーツの生徒と保護者のための進路ガイダンス」2021年7月11日(日)
- 2) 「非漢字圏からきた子どもたちのための漢字学習会」長期休暇中(夏、冬、春) ※日程未定
- 3) 「第14回九州外国ルーツの生徒交流会 in くまもと」2022年3月26日(土)～27日(日)
- 4) 「おるがったステーション」
学習会@熊本市国際交流会館 毎週日曜日 10:00～15:00
学習会@事務局 毎週土曜日 13:00～
- 5) 「日本語指導者研修会」 毎月第4土曜日 10:30～12:00 (変更する場合がございます)

お願い

NPO法人 外国から来た子ども支援ネットくまもとは、外国にルーツを持つ子どもたちの明るい未来を作るために、日本語指導をはじめ、様々な支援を行っています。自治体の委託事業である「くまもとこどものほんご」以外の、子どもたちの居場所づくり、学習支援に関しましては、多くのボランティアの方々のお力と、皆様のご寄付・ご支援により成り立っております。いただきました寄付金は、子どもたちの学習の場の会場費や、学習教材費などに使わせていただいております。今後とも何卒お力添えをお願い致します。

口座振込で寄付をする

ゆうちょ銀行(金融機関コード:9900)
一七九店 当座 165967
口座番号:01760-3-165967
NPO 外国から来た子ども支援ネットくまもと

クレジットカードで寄付をする

<https://syncable.biz/associate/shiennetkumamoto>



←寄付ページ QR コード

活動内容

NPO法人 外国から来た子ども支援ネットくまもとでは、外国にルーツを持つ子どもたちを対象に、以下の5つの活動を行っています。

- 1) 日本語指導
- 2) 進路サポート
- 3) 仲間づくり
- 4) 学習支援と居場所づくり
1) おるがったステーション
2) 非漢字圏から来た児童・生徒のための漢字学習会
3) ひだまり日本語教室
- 5) 研修会・講演活動

1) 日本語指導「くまもとこどものほんご」

委託自治体数

11 自治体

児童生徒数

40 名

2020年度は、菊陽町、菊池市、合志市、大津町、宇土市、山鹿市、玉名市、人吉市、宇城市、南小国町、荒尾市の11自治体から日本語指導委託を受けました。また、委託児童生徒数は2021年3月現在で延べ40名でした。

ルーツはフィリピン、中国、ベトナム、アメリカ、オーストラリア、シリア、パキスタン、インド、インドネシア、ネパールです。

指導対象の子どもが一人という自治体もあり、県内各地に点在する子どもたちの受け入れの必要性が、広まってきているといえます。年度途中でも速やかに受け入れ態勢を整えることが、今後にも必要になっていくと思われます。

また、活動当初は来日したばかりの子どもたちに日本語の基礎を教える「初期指導」がメインでしたが、最近ではダブルリミテッド(2つの言語どちらも年齢相応の言語能力がつかない)状態の子どもへの指導も増えてきました。これは、学校の先生方の外国ルーツの子どもたちに対する問題意識が高まり、言語的な問題が学習に支障をきたしているという認識が広まったこと、各自治体での外国ルーツの子どもたちの状況調査やレベルチェックによって、日本語指導の必要性が客観的に判断できるようになったことなどが大きな理由だと考えています。



①-2 外国ルーツの子どもへの日本語の教え方と受け入れ講座

日本語支援が必要な子どもは、言語だけではなく、在留資格、家庭環境、宗教などの様々な背景をもち、それぞれの問題を抱えています。彼らが安心して学校生活を送れるように、受け入れのための知識や注意する点、日本語の効果的な教え方などを一緒に考えました。それぞれの学校や地域教室で日本語支援に関わっている方々が集い、知恵を出し合える機会となりました。

●参加者の声

特に中学生は進路のことを考えて、その子どもにとっての目標を明確にし、現在の状況を把握してどういう力をつける必要があるのかを見極めることが大切だと思います。
各教科、外国ルーツの子どもたちがどういこうところにつまずきやすいか、ワークショップを通して、考えることができました。また、各教科の教えるポイントを教えていただいたので、参考にしたいです。(中学校教諭)



どの教科も長年の経験の中からポイントを出していただき、具体性があり、今後活用させていただこうと思うところがありました。資料に参考文献も書いてあり、実際に本を見てみようと思います。(中学校教諭)



●研修会講座内容 2021/2/27

「外国ルーツの子どもたちの学習支援」

- 講座1 事例で学ぶ「教え方べからず集」
- 講座2 「教科別教え方」ワークショップ
(オンライン (zoom) で開催、参加者54名)



②進路サポート

「第15回 外国ルーツの生徒と保護者のための進路ガイダンス」を開催！ 2020/7/12

外国から来た生徒や保護者は、日本の高校入試の制度についてほとんど知りません。特に両親とも外国人の場合、言葉の問題もあり、子どもの状況を把握できないために不安を感じる保護者も少なくありません。

進路ガイダンスでは、教育委員会、中学校、高校の先生方が入試制度の説明を行い、個別に具体的な相談を受けています。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中国・韓国ルーツのグループと、フィリピンとそれ以外のルーツのグループに時間を分け、20名の中学生と18名の保護者が参加されました。各校の先生方との相談には、外国ルーツの先輩や通訳にも同席してもらい、参加者の母語も交えて、リラックスした雰囲気でもより具体的な相談ができました。



実施内容

- 第1部 高校入試の制度・学費・奨学金の説明
- 第2部 各校の教員や先輩との個別相談

参加人数 **115** 名



<進路ガイダンス参加者の声>

今日のガイダンスを通して、将来の計画を立てることがいかに大切で、それに責任を持たなければならないかを実感することができました。このガイダンスは私にとって**高校入試の計画を立てるのに本当に役に立ちました。**

(中学生)

今日は先生方や**通訳の方々**と一緒に子どもの進路について相談して、知らなかったことをたくさん教えてもらいました。このような機会に感謝しています。(保護者)

実際に高校・大学へと進学した方の話を聞くことができ勉強になりました。**職に就くまでの道筋**を、生徒、保護者とともに考えて、最善の流れを見つけることができるように、しっかり話をしていきたいと思います。

(中学校教諭)

先輩の話聞くことはとても大事だと思いました。生徒たちが**母語でもとても生き生きと話す姿**を見てそう思いました。

(中学校教諭)

③仲間づくり

「第13回 九州外国ルーツの生徒交流会 in 熊本」を開催！ 2021/3/28

開催趣旨

- 1) 熊本県内に散在している外国ルーツの生徒の悩みや進路の相談ができるネットワークづくりや仲間づくりの場
- 2) 外国ルーツの生徒を担当している学校の担当者や日本語指導者の情報交換
- 3) 九州全体で外国ルーツの生徒たちや支援者のネットワークづくり

各地の外国にルーツを持つ子どもたちが、共に集い、母語でお互いの思いを語り合い、夢や悩みを共有し、自身の存在に誇りを持つきっかけになるように、毎年この交流会を企画しています。今年度も、高校生を中心とする生徒実行委員会の面々が実施に向けて熱心に取り組んでいましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、1日のみの開催となりましたが、班別やルーツ別の交流会を行い、様々なテーマについて話しました。



④学習支援と居場所づくり

1) 「おるがったステーション」

「おるがった」は熊本弁の「私たちの家」の意味です。「ステーション」＝「帰るところ」という意味も込めて名づけられた、外国ルーツの子どもたちの学習の場です。

来日直後の子どもたちには、日本語の初期指導をし、初期指導が終了している子どもたちには、学校の授業の内容を中心に国語や算数(数学)などの各教科の学習サポートを行っています(宿題のサポートを行うこともあります)。10-15名の子どもたちと、サポーター4-8名がほぼ毎週参加しています。

●学習会 @ 熊本市国際交流会館

毎週日曜日 10時～12時：中学生教科学習
13時～15時：小学生教科学習
／日本語初期指導

●学習会 @ 事務局

毎週土曜日 13時～：小中学生教科学習
長期休暇中 随時：小中学生教科学習

2) 非漢字圏からきた子どもたちのための「漢字学習会」 2020/11/8

フィリピンやスリランカなど非漢字圏からきた子どもたち向けの漢字学習会です。熊本市国際交流会館にて、「おるがった」でボランティアをしてくれている尚絅大学の大学生が指導を担当しました。

非漢字圏からきた小学生と中学生10名が参加し、ゲームなどを交えて、楽しく漢字を学習しました。

